

ご質問・VEご提案・見積依頼など、どのようなことでもお気軽にお問い合わせ下さい。お待ちしております。



# 高知丸高

特殊基礎工事

第177号

新技術情報

令和3年2月

〒781-0014 高知県高知市薊野南町12番31号

TEL 088-845-1510 FAX 088-846-2641

[URL] <http://www.ko-marutaka.co.jp>

[Email] [marutaka@ceres.ocn.ne.jp](mailto:marutaka@ceres.ocn.ne.jp)

## ベトナムでめがね橋を架設

短工期、低コストで架設可能な簡易橋

昨年11月、井上石灰工業様との連携で、同社における高知県企業の海外進出支援ビジネスの一環として、弊社が開発しためがね橋(11.5m×3.0m)をベトナムに輸出しました。12月にゲアン省に到着後、農業用水路として使われる運河に架けました。構台の基礎は、現地施工で、軟弱地盤へ竹杭を打込み、支持杭としていました。めがね橋は、安全性が確保された簡易な構造で、短時間で架けられる優位性があり、現地作業員4名で約3時間で架設を完了させました。

ベトナムでは、インフラ整備が加速している中、短工期・低コストで架設できる橋梁の需要が高まると考えられます。弊社は、簡単に架設できるめがね橋やピンジョイント構造で、上部工1日で架設できる長尺橋梁などの技術力を発揮し、事業展開に取り組んでまいります。



# ロングスパンSqCピア工法 長尺橋梁

上部工1日で架設することが可能な超急速性



- ・スパン長12~40m調整可能。
- ・継手はピン構造で、1箇所ピンで止め、手間のかかるボルト締付を無くす。
- ・橋脚を少なくすることで、大幅な工期・工費削減につながる。

## 高知丸高に対するコメント

京都大学大学院 工学研究科  
社会基盤工学専攻 地盤力学分野  
教授 木村 亮

私がなぜ高知丸高の技術顧問をしているのか、経緯を少し説明しよう。

地盤工学会での繋がりで、第一コンサルタツの右城猛社長とは面識があり、高知県建設業支援アドバイザー制度を用いて、年5回高知に来て講演や技術のアドバイスをしたいと、2014年の初めをお願いされた。講演や技術のアドバイスをするのは大好きで、喜んで引き受けた。第1回目の講演の時、右城社長とともに熱心に私の話を聞いておられる人がいた。それが高野広茂会長であった。その後も何度も高野会長の前で話をさせていただいたが、「何度聞いても面白い、こんな話はできますか」と言われ、高知に通い、3年前から技術顧問となった。

私の専門分野の一つに構造物基礎の挙動があり、設計だけでなく実施工にも興味があった。硬い岩盤や傾斜している斜面にどのように杭を打つのか、工事現場では非常に重要な構造物である仮設栈橋をどのように施工するのか、高知丸高の実験ヤードで色々な装置を見せてもらいながら、高野会長から聞く話はとても勉強になった。会長の工事現場で叩き上げた杭打ち技術や、新しい技術開発に対する情熱は素晴らしかった。

写真に示す「パキスタン・東西道路改修事業(国道70号線)」は、令和元年土木学会技術賞を受賞した。受賞者は、(独)国際協力機構、パキスタン・国道公団、(株)建設技研インターナショナル、大成建設(株)である。高知丸高は大成建設の下請け会社として、急な岩盤斜面に尺取虫のように鋼管柱を立て栈橋を施工し前に進んでいく、鋼管支持杭栈橋 SqC(セクシー)ピア工法によって道路を施工した。2名の職員が厳しい現場環境の中で2年間力を尽くし施工した構造物である。

高知丸高の頑張りがなければ、受賞者として名前は刻まれているけれども、このプロジェクトは成功しなかった。会社の技術力と真面目さや誠実さを表す写真であり、私は高知丸高の技術顧問であることを誇りに思っている。



高知丸高技術顧問 木村 亮 教授



配信停止・変更・問い合わせはmarutaka@ceres.ocn.ne.jpまで連絡お願い申し上げます。